

授業展開例（生活単元学習）

1 校種・学年 小学校（特別支援学級・知的障害） 第2学年・第5学年

2 単元名 「ぼくらのへんしんトンネル」をつくろう

3 単元設定の理由

児童観 省略

単元観

本単元は、「へんしんトンネル」という絵本をもとにして、言葉あそびをしながら、友だちと協力して「ぼくらのへんしんトンネル」という新たな絵本を作り上げていく。

絵本を作る過程で行う言葉あそびや、文字を書く活動、友だちと協力する活動とおして、日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てていきたい。また、絵を描いたり色を塗ったりする初歩的な造形活動によって、造形表現についての興味や関心をもち、表現の喜びを味わわせたい。

指導観

指導にあたっては、学習への意欲付けとするため、くじ引きの要領で变身させることばを箱の中から引いたり、実際にトンネルを準備してリズムや歌に合わせて言葉を変身させたりするなど、ゲーム的な要素を持つ活動を取り入れた指導を行う。また、児童が初めて出会う言葉や、意味がわかりにくい言葉は、実際の写真や絵を用意して説明する。

絵本に載せる言葉は4語とし、1人一つずつの言葉を決めさせ、残りの一つは話合いで決めさせる。話合いで、話型を用いたり、言葉を読んだり聴いたりする場面を設定して、児童が自分の考えを進んで発表できるよう掲示物や板書を使いながら支援をしていきたい。

4 単元の目標

日常生活に必要な国語を理解し、伝え合う力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる。

絵を描いたり色を塗ったりする初歩的な造形活動によって、造形表現についての興味や関心をもち、表現の喜びを味わう。

5 指導計画（全15時間）

第1次 あきやまただし作の絵本「へんしんトンネル」の読み聴かせを行い、ことばの变身のなぞについて考えさせる。…1時間

第2次 「ぼくらのへんしんトンネル」を作るために、身の回りの言葉集めをする。…2時間

第3次 「へんしんトンネルごっこ」をして言葉を変身させながら、「ぼくらのへんしんトンネル」に載せる言葉を、話し合って決める。…2時間

第4次 「ぼくらのへんしんトンネル」の絵本を作成する。…3時間

第5次 「ぼくらのへんしんトンネル（てん・まる編）」に載せる言葉を話し合って決める。…1時間【本時】

：

以下、省略

6 本時の目標

全体の目標

- ・言葉の「へんしんごっこ」や絵本にする言葉を選ぶ活動を進んで行う。
- ・濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することを理解する。
- ・話型を使い、自分の意見を表現することができる。

個々の目標（児童A，B，C）

児童名	これまでの様子	目標
A	・教師の指示を「はい」と言って聴くことはできるが、言葉が不明瞭であり、自分がして欲しいことを頼む言い方ができにくい。	・絵本の文字をはっきりと大きな声で読む。 ・濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することを理解する。 ・自分の気に入っている言葉を、身振りなどで伝える。
B	・学級内では安心して自分の思いを話したり、自信をもって考えたことを発表したりすることができる。ある程度まとまった量の文書を読んだり、初見の文章を音読できるようになっている。	・言葉の「へんしんごっこ」を進んで行い、楽しく活動する。 ・濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することを理解する。 ・自分の考えを発表したり、友だちの考えを聴いたりする。
C	・A児やB児に対して進んで手を貸し助けている場面がよく見られる。しかし、相手の話の内容の中心をとらえながら集中して聴くことができにくい。	・言葉の「へんしんごっこ」を進んで行い、楽しく活動する。 ・濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することが理解する。 ・自分の考えを発表したり、友だちの考えを聴いて、感想を述べる。

人権教育の視点

- ・互いの思いや考えを伝え合ったり聴き合ったりするコミュニケーション能力を育成する。
- ・自分の考えを認めてもらったり、互いの考えを共有しあったりすることで、ともに学習することの楽しさを感じ、自信をつける。

7 準備物

C Dデッキ，音楽CD，本時の学習活動カード，楽器（たいこ，タンバリン）

8 学習過程

学習活動	指導上の留意点 (<input type="text"/> 課題, 支援, 評価)			
	A (第2学年)	B (第5学年)	C (第5学年)	全体
1 始めのあいさつをする。(2分)	きちんと号令がかけられたことを誉める。			姿勢を正して、号令に合わせて立って、元気にあいさつをする。
2 これまでの学習内容を確認する。(5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> みんなでつくった大型絵本「ぼくらのへんしんトンネル」を音読する。 </div>			相手を意識して大きな声で読むよう指導する。 元気な声で読めたことを誉める。
	事前に練習をしておき、元気に読むよう指示をする。 絵本の文字を大きな声で読んでいる。	C児と役割を分担して読むよう指示をする。	B児と役割を分担して読むよう指示をする。	
3 本時の学習内容を確認する。(5分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本日の課題、「ぼくらのへんしんトンネル(てん・まる編)をつくろう」を読む。 </div>			本時の学習内容を板書して流れを示す。
4 濁点と半濁点の役割について学習する。(15分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 濁点や半濁点をつけると、意味が変化する言葉について考える。 </div>			音楽に合わせて、箱の中から言葉が書かれているカードを引くよう指示をする。 引いたカードに書いてある言葉が、濁点や半濁点をつけると変身するか考えさせる。 音楽に合わせて、みんなで「へんしんトンネルごっこ」をする。
	引いたカードの言葉を大きな声で読むよう指示をする。 読めない場合は、そばにいき、一文字ずつ指さして一緒に読む。 濁点や半濁点をつけたら何になるか、該当する絵を指さすよう促す。 動けなくなった時には、手を引いてトンネルをくぐる。 濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することを理解している。	引いたカードの言葉を大きな声で読ませて、濁点や半濁点がついたら、別の言葉になるか考えさせる。 濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することを理解している。	引いたカードの言葉を大きな声で読ませて、濁点や半濁点がついたら、別の言葉になるか考えさせる。 濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することを理解している。	

<p>5 絵本にするため、どの言葉を選ぶか話し合う。(15分)</p>	<p>絵本にする言葉を4つ選ぶ。</p>			<p>「へんしんトンネルごっこ」で使ったカードから、絵本にする言葉を4つ選ぶよう指示をする。話し合いに入る前に、相手を大切に話した話し方や聞き方の具体例を示す。</p>
<p>6 本時の振り返りを行う。(5分)</p>	<p>自分のがんばったところを発表させる。</p>	<p>自分や友だちが頑張ったところを発表させる。 A児の頑張りについても、話させるようにする。</p>	<p>自分や友だちが頑張ったところを発表させる。 A児の頑張りについても、話させるようにする。</p>	<p>自分や友だちががんばったところや楽しかったことを発表させる。がんばったところを認めて誉める。</p>
<p>7 次時の学習の内容を聴き、終わりのあいさつをする(3分)。</p>	<p>次の時間から、今日、話し合っただけ決めた言葉を使って、もう一度、絵本を作ることを確認する。</p>			<p>姿勢を正して、号令に合わせて立って、元気にあいさつをする。</p>
	<p>きちんと号令がかけられたことを誉める。</p>			

ゴシック体の表記は、人権教育にかかわる指導。

9 評価の観点

- ・言葉の「へんしんごっこ」や絵本にする言葉を選ぶ活動を積極的に行ったか。
- ・濁点や半濁点をつけ加えると、言葉の意味が変化することを理解したか。
- ・話型を使って、自分の意見を表現することができたか。

10 年間指導計画 省略

11 教室内の配置 省略

【参考】 「へんしんカード」に書かれた言葉の例

- ・はね(羽) ばね(バネ)
- ・すいとう(水筒) すいどう(水道)
- ・かき(柿) かぎ(鍵)
- ・はす(蓮) ばす(パス), ぱす(パス)
- ・くり(栗) ぐり(絵本の主人公の名前)
- ・いか(烏賊) いが(栗のイガ)
- ・からす(カラス) がらす(ガラス)